

### ◎現代GPものづくり教育研究フォーラム2007について

文部科学省が募集した「現代的教育ニーズ取組支援プログラム（現代GP）」に新居浜高専の取組「地域連携プロジェクト型ものづくり活動～工都新居浜の活性化プラン～」が選定され、平成18年10月より活動している。この取組では各年度に「ものづくり教育研究フォーラム」を開催し、講演・討議を通じて取組内容の検討を深め、広く地域に情報を発信し普及を図ることになっている。平成18年度は発進の年度として「地域連携プロジェクト型ものづくり活動の可能性」をテーマに開催した。本年度は飛躍の年度であり、「地域連携プロジェクト型ものづくり活動とまちづくり」のテーマで開催した。今回のフォーラムには、小中学校・高等学校の教員・生徒をはじめ、新居浜市教育委員会関係者、現代GP推進運営委員、現代GP評価委員、一般市民、本校教職員等76名が参加した。

現代GP先進的取組講演では、徳山高専が周南市や地元企業と連携して、商店街の空き店舗などを使って学生と地域市民との交流の場を設置し、学生の創造教育に活用する取組が紹介された。地域との連携を密にするためにこまめに情報を発信する必要があることなどがたいへん参考となった。

ものづくり活動先進的実践講演では、愛媛県総合科学博物館友の会科学クラブについて、設立から現在までの発展の経緯、館内および館外での多岐にわたる活動が紹介された。さまざまな実験・工作の実例とともに、家族単位での参加、会員の企画・運営への積極的な参加が興味をひき、本校の出前講座などに大いに参考になった。

総合討議では、県総合科学博物館と新居浜高専が連携して活動することが提案され、今後検討することになった。また、出前講座・夏季教員実技研修のパネル展示を行い、参加者の関心を集めた。地域でのまちづくり活動において地域との連携をより深めて地域の活性化につなげていく方法、ものづくり活動において小中学生に対して理科により興味をもたせる方法、および双方の活動において参加学生により積極的に活動させる方法についてのヒントが得られ、フォーラムとして有意義なものとなった。

「地域連携プロジェクト型ものづくり活動とまちづくり」のご案内

日時：平成19年12月25日（火）14：00～16：40

場所：新居浜工業高等専門学校 第1会議室

主催：新居浜工業高等専門学校

後援：愛媛県教育委員会、新居浜市教育委員会

内容：

1. 現代GP先進的取組講演  
「「まちなかサテライト」を活用した創造教育」  
徳山高専 土木建築工学科 工藤 洋三 教授
2. 出前講座・夏季教員実技研修のパネル展示および自由懇談
3. ものづくり活動先進的実践講演  
「総合科学博物館友の会科学クラブ活動について」  
愛媛県総合科学博物館 藤本 光章 主任学芸員
4. 総合討議：（座長：新居浜高専 高技センター長 川崎 宏一 教授）

